



baby bottle ^{SL}

ラージダイアフラム・スタジオ・コンデンサー・マイクロフォン

ありがとうございました

この度はBlue Microphones Baby Bottle SLをお買い上げ頂きまして誠に有り難うございます。妥協を許さずハンドメイドにこだわったマイクロフォンBaby Bottle SLは、ソリッドステートのクラスAディスクリート回路を搭載、BlueのフラッグシップモデルBottleマイク・システムを継承し秀逸なパフォーマンスを実現します。

Baby Bottle SLをご使用になる前に本書をよくお読みください。Baby Bottle SLの機能や取り扱い方法、レコーディングテクニック、ご使用の上での注意などを理解した上で本書に従いご使用になり、またより長くお使い頂くために、適切なお手入れを随時行ってください。

Baby Bottle SLは圧力傾度型の単一指向性コンデンサー型マイクロフォンで、クラシックなサウンドを再現し多彩な用途に使用できます。世界屈指のビンテージマイクロフォンのスタイルを踏襲したBaby Bottle SLは、豊かなディテールの中域、滑らかな高域、ニュートラルな低域を提供します。更に20dBの減衰パッド、100Hzのハイパスフィルターを装備し、ボーカル、ドラム、エレキギターアンプ、録音が難しいとされるサクソやホルンなどの管楽器さえも含むあらゆる音源をリッチでクラシックな雰囲気仕上げてくれます。

Baby Bottle SLにはマイクを低周波の振動ノイズから保護するためのカスタムのショックマウントが付属します。



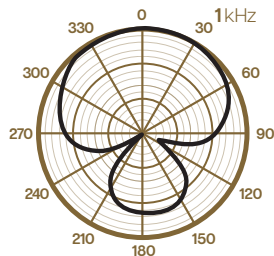
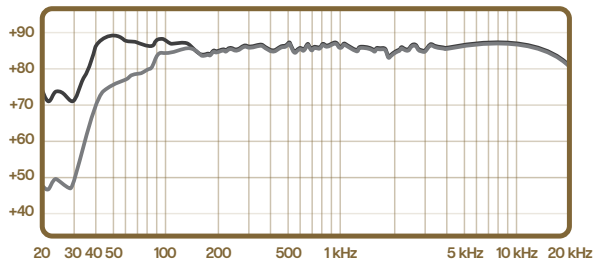
Baby Bottle SLは48Vのファンタム電源供給により動作し、主要なオーディオインターフェイス、ミキサー、マイクプリアンプで使用可能です。オーディオ部品の損傷を防ぎ最適な状態でお使い頂くために、まず以下の手順に従い使用環境を設定してください。

- マイクプリアンプのゲインを「オフ」またはゼロに設定します。
- ご使用になるDAWまたはミキシングコンソールの入力チャンネルをミュート（消音）します。
- バランスXLRマイクロフォンケーブルのメス側の端子をBaby Bottle SLの出力端子に接続します。オス側の端子はマイクプリアンプの入力端子またはミキシングコンソールのバランス入力端子に接続します。
- ファンタム電源をオンにします。
- シグナルパスにミュート（消音）されている箇所があればミュートを解除し、マイクプリアンプのゲインを必用に応じて調節します。

Baby Bottle SLの極性パターンは単一指向性で、カプセルの前面のシグナルを拾いオフアクシスのシグナルは排除されます。Baby Bottle SLをマイクスタンドに設置し、カプセルの前面（Blueロゴのある側）を音源に向けてからマイクの電源をオンにします。20dBの減衰パッドは高速トランジェント、高SPLの音源に対応しスネアドラム、タム、エレキギターアンプ、パワフルなボーカルなどの収音にも最適です。キックドラムやベースアンプなどの低音楽器を録音する場合を除いて、一般的には100Hzのハイパスフィルターを有効にして、振動や低周波によるランブルノイズを除去しレコーディングのヘッドルームを確保します。

BABY BOTTLE SLの周波数特性と極性パターン

チャートでは周波数特性の例を紹介しています。マイクロフォンは用途により動作が大きく異なります。ルームアコースティック、音源からの距離、インストゥルメントのチューニング、マイクケーブリングなどを含むその他の多くの条件により変化します。また、マイクの使用条件はアーティストやエンジニアが音作りを始める際の基礎を形成します。



Baby Bottle SLの機能と特徴についての説明は以上です。以下のセクションでは使用にあたり、音源の種類別にBaby Bottle SLを適切に設置する上での基本的なマイキングのテクニックを解説します。

ボーカル



音楽業界では周知のことですが、ボーカリストはマイクロフォンの見た目の善し悪しでパフォーマンスに差が出る場合が多いため、Baby Bottle SLのような洗練された美しいデザインでインスピレーションを刺激し意欲を高めることも重要です。「ビッグ」でプレゼンスを最大に強調するには、マイクカプセルを唇から2.5-10センチの位置まで近付けます。マイクカプセルを上向きに傾けると、ヘッドトーンが強調されよく通るトーンになり、マイクを唇に近接させると鮮やかで明瞭なトーンになり、マイクを下に向けると低音の迫力が増し高域が滑らかになります。必用に応じて100Hzのハイパスフィルターを有効にし、振動や低周波によるランブルノイズを除去しレコーディングのヘッドルームを確保します。

エレキギター



豊かな中域を持つBaby Bottle SLは、クリーンサウンドにも歪み系のアンプサウンドにも抜群の対応力を持ちます。マイクカプセルがスピーカーのコーンの中心を狙うように設置すると高域が強調され、コーンのエッジを狙うように設置すると低域が強調された豊かなサウンドになります。ディストーションやオーバードライブなどの歪み系のトーンは、Baby Bottle SLをコーンのエッジ付近に設置するか、ルームノイズを多少加えるようBaby Bottle SLをアンプから30センチ以上遠ざけてトップエンドをソフトにします。エレキベース、ブルース・ハーモニカ、オルガン等にも最適に使用できます。

アコースティック・ギター



ラージダイアフラムのマイクロフォンでアコースティック・ギターを収音する場合、マイキングには細心の注意が必用ですが、リッチなトーンと高出力を装備するBaby Bottle SLはアコースティック・ギターの収音に理想的です。Baby Bottle SLをギターのネックとボディのジョイント（12フレット-14フレット付近）の前に設置しカプセルをネックに向けると、バランスのとれたサウンドになりきらびやかなトップエンドが得られます。ギター・レコーディングの経験が浅い場合は、マイクをギターにできるだけ近付け、カプセルをサウンドホールに向けてマイクを傾けると低音が強調されピッキングノイズが軽減されます。重低音を更に効かせるには、マイクをサウンドホールに近付けます。ディテールを重視する場合は、ギターからマイクを遠ざけますが、この時、マイクの位置をネック部分か、もしくはマイクをギターの上（ギタリストの頭の上）に設置します。必用に応じて100Hzのハイパスフィルターを有効にし、振動や低周波によるランブルノイズを除去しレコーディングのヘッドルームを確保します。

弦楽器



高出力、自然な高域、豊かな中域を持つBaby Bottle SLは全ての擦弦楽器の収録に最適です。一般的にはマイクカプセルを楽器のブリッジの方へ向けて、共鳴音と擦弦音がミックスされたサウンドを収音します。チェロやベースは、ブリッジの前、7.5-16センチ離して設置するのが理想的です。バイオリンやビオラは楽器から30-60センチ上方に設置します。カプセルをブリッジ側に向けると擦弦音が強くなり暗めのトーンになり、糸巻き（ペグ）側に向けると明るく広がりがあり調和のとれたサウンドになります。

ドラム



Baby Bottle SLのスリムなボディと高速過渡応答の特性はドラムの収音に最適です。ドラムキットやハンドドラムにはリムまたはフープ（ヘッドをシェルに固定している枠の部分）から5-10センチくらい上方にマイクを設置します。アタック音を強調するには、カプセルの正面をドラマーの手元またはドラムスティックに向けます。カプセルをシェルに向けるとハンドドラムのシャープなアタック音を柔げ、またスネアの明るくきらびやかなバズ音を拾います。必用に応じてハイパスフィルターや20dBの減衰パッドを有効にします。ドラムにマイクを近付けると、低音とシェルのレゾナンスが強調され、その他の音源からの距離感が増しますが、更に距離を広げると、ドラムが周囲に溶け込んで空気感と一体感のあるサウンドになります。

サクソ、クラリネットなどの木管楽器



ソプラノ・サクソ、クラリネット、オーボエなどの収音には、Baby Bottle SLをボディの中心部分から一番下のパッドとの間にあるキーの正面で真上に設置します。必用に応じてハイパスフィルターを有効にします。Baby Bottle SLを楽器のボディに沿って上下に移動させて、バランスを調整しますが、マイクがマウスピースに近づくほど空気感のある高域が得られ、反対にベル側に移動すると中域が強調されます。フルートでは全体の長さの中央部分の真上にBaby Bottle SLを設置し、マイクをマウスピース側に移動させて調整します。マウスピースに近づくほど高域が強くなりプレス音が強調されます。サクソと同種の管楽器では、ベルの終端部分の前に10-15センチ離して設置してからバランスを調整します。Baby Bottle SLのカプセルを上に向けマウスピースを狙うと、空気感、明瞭度、高域が増し、カプセルを床方向、下向きでは低域が強調され、管自体から出る中高域のざらつきを抑えます。

Baby Bottle SLをお楽しみください。

技術仕様:

- トランスデューサータイプ: コンデンサー、圧力傾度
- 極性パターン: カーディオイド
- 周波数特性: 20Hz-20kHz
- センシディビティ: 39.8 mV/Pa@1kHz
(1pa=94 dB SPL)
- 出力インピーダンス: 50 Ohm
- 定格負荷インピーダンス: 最小1k Ohm
- 最大SPL: 134dB SPL (1kHz、THD 0.5%)
- S/N比: 83.2dB-A
- ノイズレベル: 10.8dB
- ダイナミックレンジ: 123.2dB
- 使用電圧: +48V DC Phantom Power
- 重量: 410g
- 寸法: 222.5mm x 51.5mm
- ハイパスフィルター: 100Hz、12dB (1オクターブあたり)
- パッド: -20dB

付属アクセサリー: ● ウッド・ストレージボックス ● カスタム・ショックマウント

製品の保証

Blue Microphonesは、Blue Microphones正規ディーラーにて購入されたハードウェア製品につき、正常な使用における状況下で発生した不具合に対して、製品の購入日より2年間の無償保証期間を設けております。無償保証期間内でも製品に改造や操作ミス、過度な消耗等が認められた場合や、Blue Microphonesが認定したサービスセンター以外の場所でサービスを受けたものに関しては、保証外となりますのでご注意ください。本保証には、事前に合意がない限りサービスを受けるための運送費や交通費は含まれません。Blue Microphonesは製品改良のため、予告なく製品の仕様や外観を変更する権利を有します。また製品仕様に変更が行われた場合、変更前に製造された製品に対して、これらの変更を反映/適用する義務を負いません。製品の保証や免責事項に関しては、Blue Microphones (米国 +1-818-879-5200) までお問い合わせください。Baltic Latvian Universal Electronics (BLUE) では、製品改良のため製品の仕様及び外観は予告なく変更することがあります。



設計: 米国 製造: 中国



www.bluedesigns.jp

© 2016 Blue Microphones. 無断複製転載を禁ず。BlueロゴはBlue Microphones, LLCの登録商標です。 設計：米国 製造：中国